

# 日本学生支援機構奨学金申請書 I

出願者本人が自筆で記入してください。

⑬の連帯保証人欄・保証人欄は除く。

No.①

2018年4月1日現在

◎ ◎ 本枠内を出願者本人が自筆で記入してください。黒のボールペン（消せるものは不可）を使用してください。  
◎ 印の部分は該当するものを○で囲んでください。

記入例は14ページ参照

①フリガナ											学籍番号									
氏名																				
生年月日	19			年			月			日生	(満)			歳)						
②在学大学院	中央大学大学院 ※ 修士・博士前期課程 博士後期課程										20			年			月	入学	研究	指導教員
	研究科										20			年			月	修了見込	研究室	先生
③本人現住所 連絡先	〒( ) 都道 府県					TEL: ( ) 携帯: ( )					⑤ 本人写真貼付 半身・無帽・正面 3ヶ月以内のもの (縦4cm×横3cm) 写真裏に学籍番号・ 氏名を記入すること									
④家族住所 (同上は不可)	〒( ) 都道 府県					TEL: ( ) 携帯: ( ) (※父・母)														
⑥本人の履歴 (空白期間のないように記入すること)	A 大学卒業後の履歴[学歴(休学・退学等を含む)・職歴・自宅研修(自宅での入学準備)・家事従事等を含む]を記入すること。										B 日本学生支援機構(旧:日本育英会)前(現)奨学生番号				※受給状況					
	年 月( )大学( )学部卒業										. .				貸与終了					
	年 月 ~ 年 月										. .				貸与中					
	年 月 ~ 年 月										. .				貸与終了					
	年 月 中央大学大学院 ※(修士・博士前期課程/博士後期課程)										. .				貸与中					
	( )研究科( )専攻 入学										. .				貸与終了					
	2018年4月現在 ( )年次在学中										. .				貸与中					
C これまでに中央大学貸与奨学金を受けたことがある人は、貸与年度を記入すること。 (学部時代のものや、大学院の入学時貸与奨学金を含む)										年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度			
D 奨学金貸与額										《実績》 2018年3月までに貸与を受けた奨学金の総額										万円
実績と見込										《見込》 上記《実績》欄の金額と、今回の出願で第一希望の奨学金に採用となり、それを貸与期間満了まで受けた場合を想定した見込総額を合算した額										万円
⑦奨学金希望理由	奨学金貸与を希望するに至った家庭事情・経済的事由・奨学金の必要性及び使途など、その他特に説明を要することを具体的に記入すること。※家計急変(事由発生から1年以内のものに限る)の場合は、スタッフに直接申し出てください。																			

備考	
----	--

大学使用欄
保証人要件確認
(スカラネット)

◎ 太枠内を黒のペン又はボールペンで記入してください。

⑧	研究題目(研究分野)
⑨	大学院進学理由
⑩	研究概要(修士・博士前期課程1年次は大学の卒業論文の概要及び今後の研究プランを、修士・博士前期課程2年次以上は現在の研究内容及び今後の研究プランを、博士後期課程は修士論文の概要・現在の研究内容及び今後の研究プランを記入すること)
⑪	将来の希望 進路・目標
⑫	自己評価等 (自分の性格や生活信条、趣味、資格、課外活動等について記入すること)

⑬ 奨学金出願申請書Ⅰ・Ⅱの記載内容について相違ないことを誓約します。  
 記載内容が事実と異なっていた場合は選考対象外になっても異議申し立てしません。  
 また、万一採用後に虚偽が認められた場合は、振込済の奨学金を返金します。  
 採用になった場合には保証形態を遵守し、手続書類を期限までに必ず提出します。  
 奨学金返還の際は、返還期限を遵守します。

中央大学学長 殿

2018年 月 日

本人氏名 (署名・捺印)		印	
		朱肉用印鑑使用	
連帯保証人 (署名・捺印) *父母のいずれか	続柄	印	
		朱肉用印鑑使用	

印鑑は各々異なる朱肉印鑑を使用してください。同一印の場合は訂正を求めます。スタンプ印は不可です。